

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年01月19日

計画の名称	広島県における流域下水道事業の推進（防災・安全）																			
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当									
交付対象	広島県																			
計画の目標	本県を代表する太田川・芦田川・沼田川は、生活用水をはじめ工業用水、農業用水として重要な水源となっている。また瀬戸内海についても、本県の経済活動を支えるとともに、日本初の国立公園の指定を受けるなど、県民の貴重な憩いの場となっている。 一方で下水道整備の進展に伴い、下水道施設ストック（処理場、管きょ等）が増大しており、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故や機能停止を未然に防止しするため、計画的な点検・調査及び修繕・改築・耐震対策を行うことにより持続的な下水道機能確保とライフサイクルコストの低減を図る。																			
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		14,467		A	14,447		B	0		C	20		D	0		効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0.13	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5	R7	R9
1	各流域における期間内に改築を行う対象設備の更新達成率			
	事業期間内における改築を行う対象設備の更新達成率	0%	70%	100%
	改築済設備数／改築対象施設数（対象施設）期間内改築設備数：925設備			
2	各流域における期間内に健全度評価による健全率			
	事業期間内における健全度評価による健全率	16%	13%	10%
	健全度2以下の管路延長／全延長（対象延長）期間内更新延長：6,186m			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	広島県	直接	広島県	－	改築	太田川流域下水道（終末 処理場，中継ポンプ場， 管きよ）	改築更新・耐震対策（工事・ 調査・設計）	広島市，府中町 ，海田町，坂町 ，熊野町	■	■	■	■	■	3,424		策定済
		ストックマネジメント計画，下水道総合地震対策計画																	
	A07-002	下水道	一般	広島県	直接	広島県	－	改築	芦田川流域下水道（終末 処理場，中継ポンプ場， 管きよ）	改築更新・耐震対策（工事・ 調査・設計）	福山市，府中市	■	■	■	■	■	9,419		策定済
		ストックマネジメント計画，下水道総合地震対策計画																	
	A07-003	下水道	一般	広島県	直接	広島県	－	改築	沼田川流域下水道（終末 処理場，中継ポンプ場， 管きよ）	改築更新・耐震対策（工事， 調査，設計）	三原市，東広島 市	■	■	■	■	■	1,604		策定済
		ストックマネジメント計画，下水道総合地震対策計画																	
												小計						14,447	
											合計						14,447		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	広島県	直接	広島県	－	－	太田川流域下水道	下水道BCPに基づく防災訓練	広島市，府中町 ，海田町，坂町 ，熊野町	■	■	■	■	■	20		－
		基幹事業である下水道ストックマネジメント支援制度と合わせて防災訓練を実施することにより，下水道BCPに基づく下水道施設の持続的な運営を図る。																	
											小計						20		
											合計						20		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

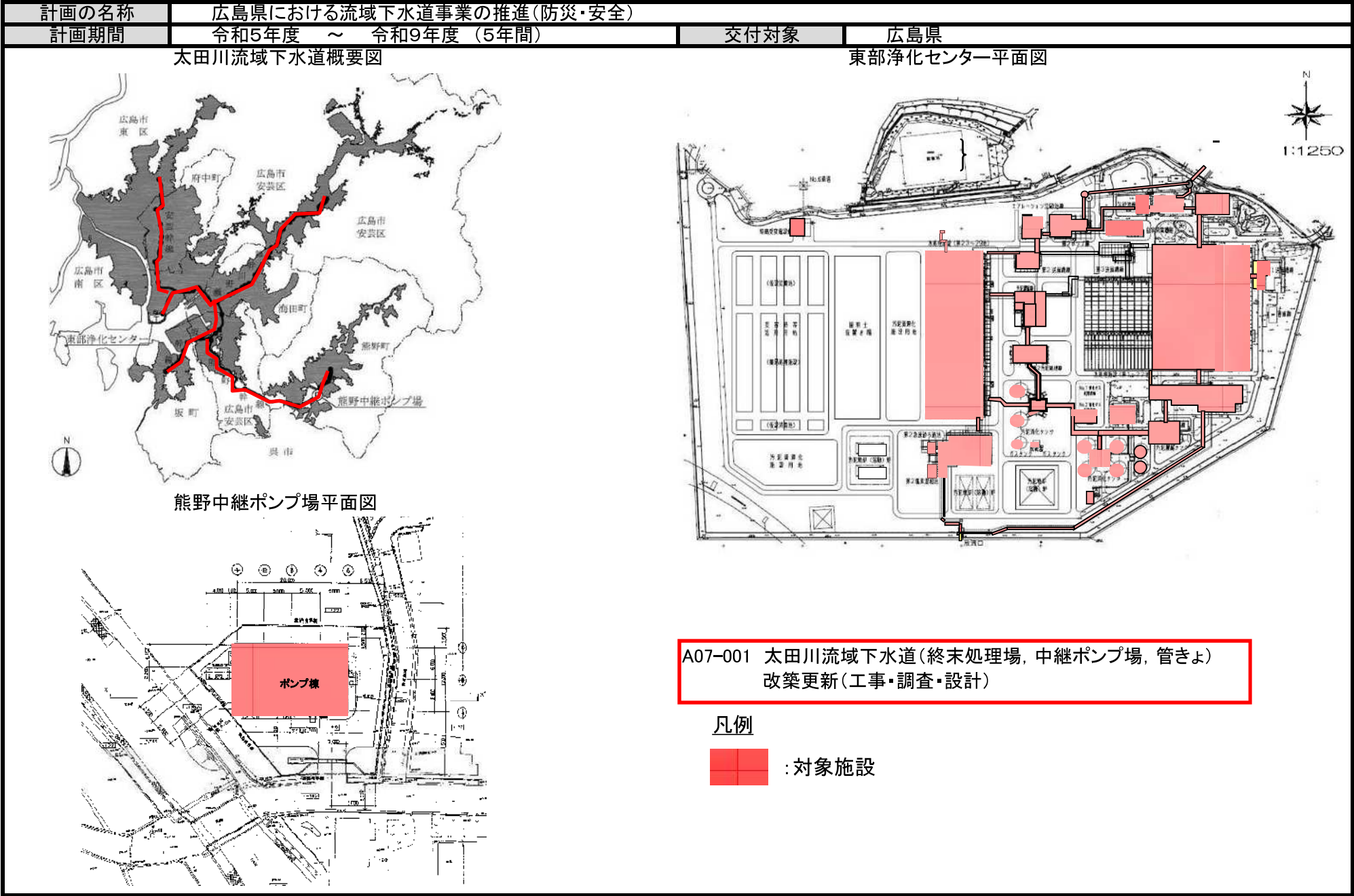
	R05	R06			
配分額 (a)	708	1,097			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	708	1,097			
前年度からの繰越額 (d)	0	99			
支払済額 (e)	609	835			
翌年度繰越額 (f)	99	361			
うち未契約繰越額 (g)	62	293			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	8.75	24.49			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		事業計画の再検討のため。			

事前評価チェックシート

計画の名称： 広島県における流域下水道事業の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	
I. 目標の妥当性	
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

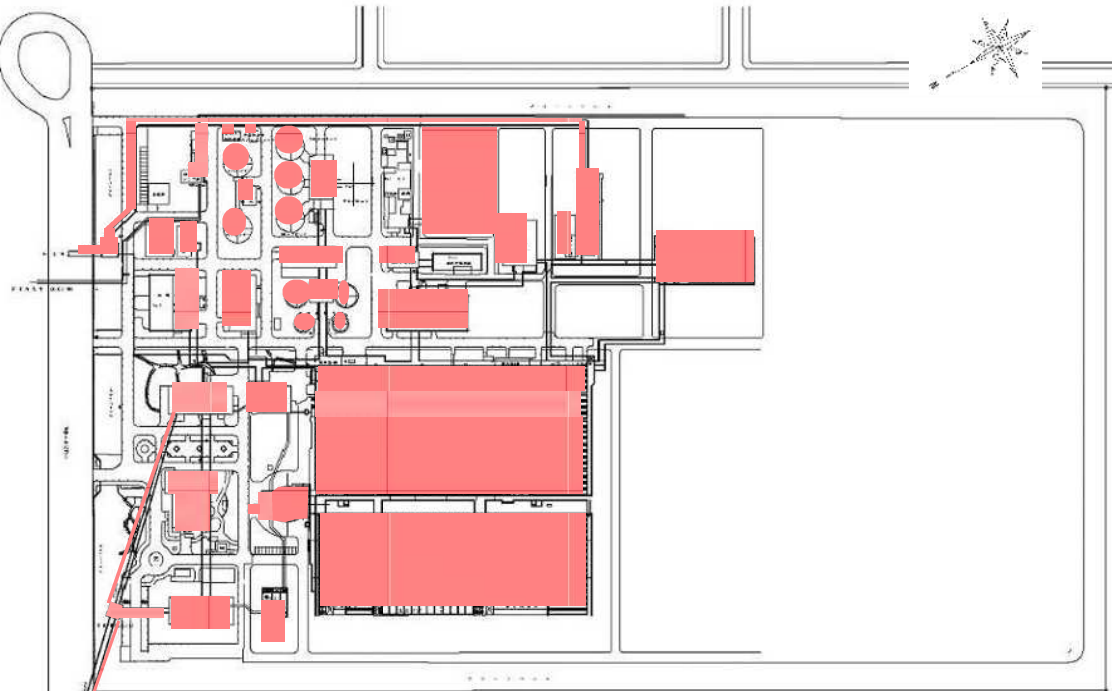
(参考図面)



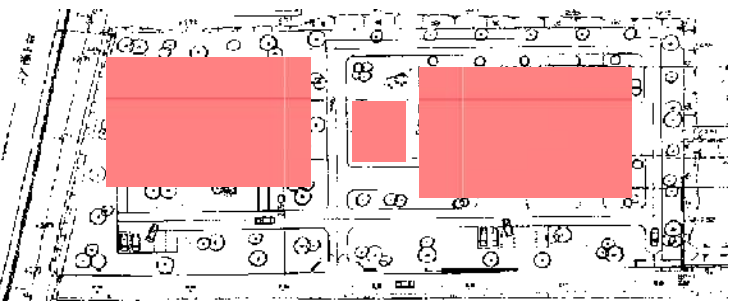
(参考図面)

計画の名称	広島県における流域下水道事業の推進(防災・安全)		
計画期間	令和5年度	～	令和9年度(5年間)
	交付対象		広島県

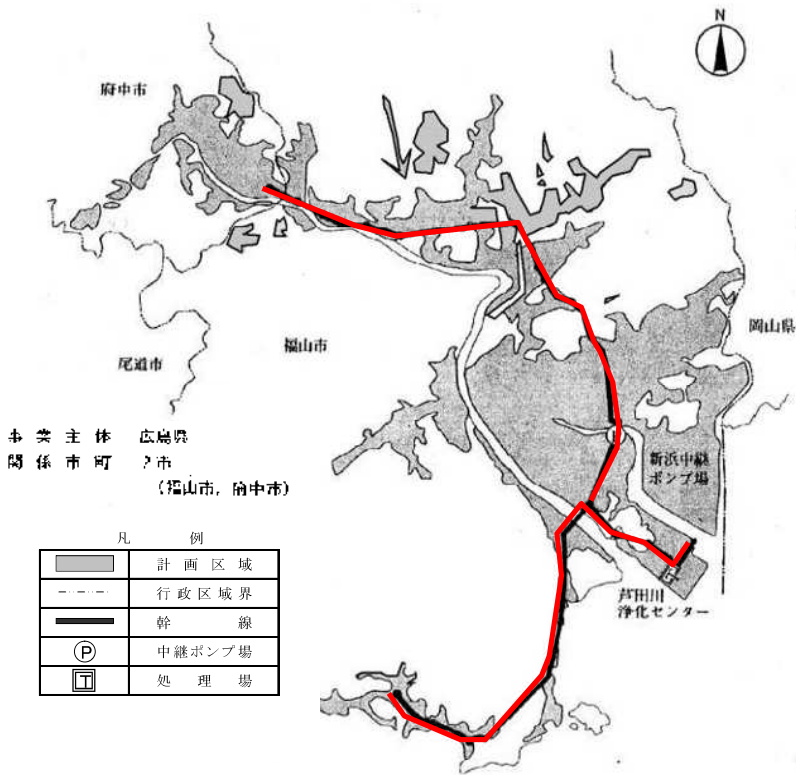
芦田川浄化センター平面図



新浜中継ポンプ場平面図



芦田川流域下水道概要図



事業主体 広島県
関係市町 尾道市、福山市
(福山市、府中市)

凡 例	
	計画区域
	行政区域界
	幹線
	中継ポンプ場
	処理場

A07-002 芦田川流域下水道(終末処理場, 中継ポンプ場, 管きよ)
改築更新(工事, 調査, 設計)

凡例
 : 対象施設

(参考図面)

